UV-Cランプ式空気清浄機
ベイブ

効果測定レポート

食品製造施設での例

効果測定方法：浮遊菌検査（一週間）

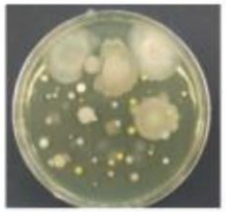
1. エアーサンプラーで室内の空気を捕集

左:エアーサンプラー
右:培地

2. 捕集した空気の菌を培養

培養の様子

3. 菌のコロニー数から室内を浮遊する菌数を割り出します



培養後の菌のコロニー

微生物による室内空気汚染に関する設計および維持管理基準の提案値

対象建物	設計規準(細菌)		設計規準(真菌)		設計規準(微生物)		備　考
事務所[1)]	浮遊(cfu/㎥)	200以下	浮遊(cfu/㎥)	20以下			維持管理規準として 細菌500，真菌50cfu/㎥以下
学　校[2)]	浮遊(cfu/㎥)	10,000以下	浮遊(cfu/㎥)	2,000以下			維持管理規準としても使用
	落下(cfu/(5分・皿))	10以下	落下(cfu/(5分・皿))	10以下			
病院待合室[1)]					浮遊(cfu/㎥)	200以下	維持管理規準として500cfu/㎥以下
高齢者福祉施設[1)]	居室、食堂・談話室、デイルーム・機能訓練室とも				浮遊(cfu/㎥)	200以下	維持管理規準として500cfu/㎥以下
					維持管理規準(微生物)		
食品工場[1)]					浮遊(cfu/㎥)	100以下	4グレード有り,清浄作業区域で表示 最小空気量は0.2㎥ 採取面積は100㎠以上推奨
					落下(cfu/(20分・皿))	30以下	
					付着(cfu/25㎠)	30以下	

[注]1)空調設備有、2)授業中の教室

食品製造施設での例

浮遊菌採取場所

①作業室前　出入口

②事務所側　出入口

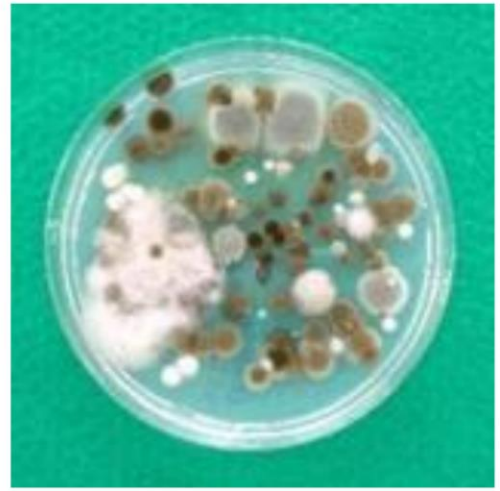
食品製造施設での例

ベイブ稼働前の浮遊菌培養画像及び検査結果

①作業室前　出入口

400/一般生菌数(1000L中)
※測定不能につき上限400で算出

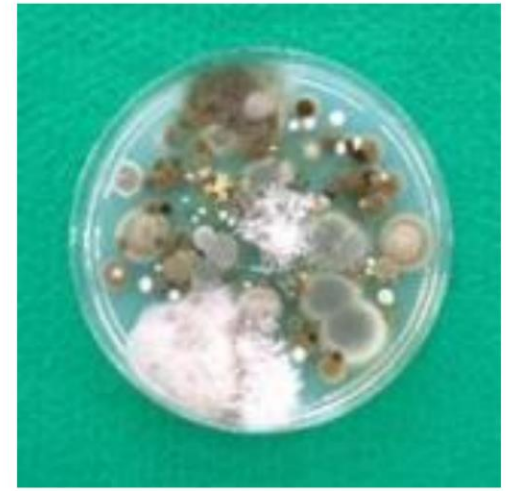
400/真菌数(1000L中)
※測定不能につき上限400で算出



②事務所側　出入口

400/一般生菌数(1000L中)
※測定不能につき上限400で算出

400/真菌数(1000L中)
※測定不能につき上限400で算出

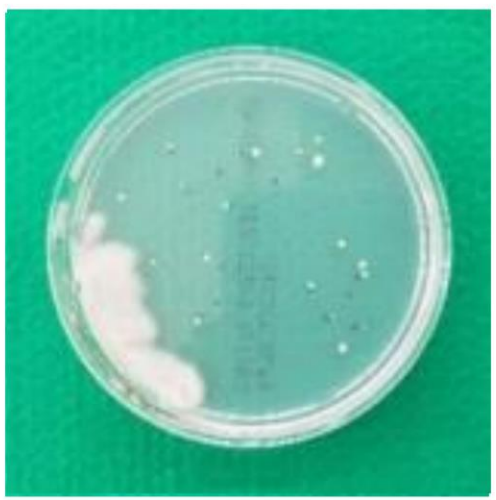


食品製造施設での例

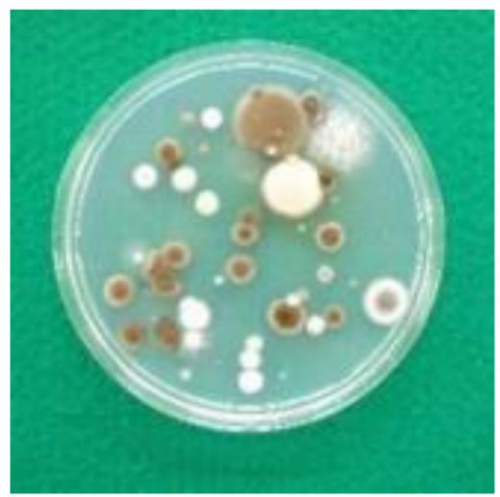
ベイブ稼働後の浮遊菌培養画像及び検査結果

①作業室前　出入口

116/一般生菌数(1000L中)
減少率：71%以上



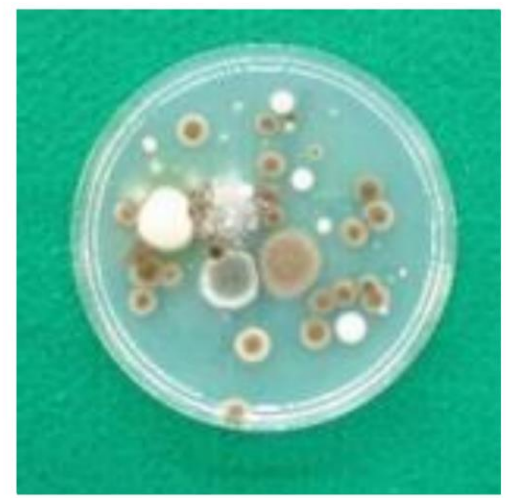
224/真菌数(1000L中)
減少率：44%以上



②事務所側　出入口

236/一般生菌数(1000L中)
減少率：41以上

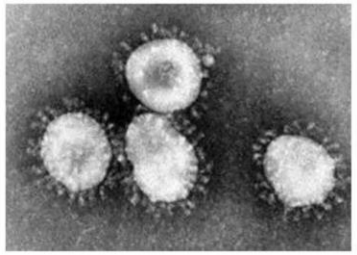
252/真菌数(1000L中)
減少率：37%以上

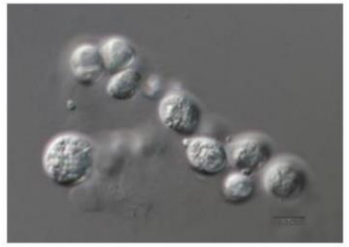


食品製造施設での例

ベイブ稼働後の効果

- 浮遊菌は**70%**以上の減少
- カビ（空気中に舞っているカビ）は**40%**以上減少
- **重たいニオイ**の減少





短期間の効果測定ではありますが、一般生菌・真菌（カビ）類に大幅な減少が見られました。
装置稼働前は実質計測不能値であり、実際の減少率は記載の数値以上と推察されます。

次亜塩素酸方式やオゾン方式と比べ、臭いがまったくなくメンテナンスもフリーな点も、
日々の業務に支障がなく良いところであります。
内臓ランプは、9000時間の長寿命で、24時間点灯で1年に1回のお取替えで済みます。

UVCランプ搭載 空気清浄機　ベイブ

3ヶ月無料レンタル キャンペーン

キャスター付きで移動らくらく

コンセントをさすだけで設置完了！

お申込みはこちら ＞